

共同研究会：シリア・メソポタミア世界の文化接触

— 民族、文化、言語 —

とき

2008年1月26日(土) 午後1時～5時

1月27日(日) 午前9時～午後5時

ところ

京大会館 京都市左京区吉田下河原町15-9、電話075-751-8311

このたび上記の要領で、共同研究会を開催いたします。

これは、特定領域研究「セム系部族社会の形成 ユーフラテス中流域ビシュリ山系の総合研究」[平成17年度～21年度：領域代表者 国士舘大学イラク古代文化研究所教授大沼克彦]が組織する以下の計画研究グループに属し、かつ粘土板文献の分析を主専門としている諸研究者が、その研究成果を公表するために企画した研究会です。

「西アジアにおける都市化過程の研究」(研究代表者：常木晃)

「シュメール文字文明」の成立と展開」(研究代表者：前川和也)

「北メソポタミアにおけるアッシリア文明の総合的研究」(研究代表者：沼本宏俊)

「パレスティナにおける都市の発達と「セム」系民族の展開」(研究代表者：月本昭男)

古代シリア、メソポタミア地方の歴史、文化、言語に関心をおもちの方々の傍聴、討論参加を歓迎いたします。

なお1月26日研究報告終了後、懇親会を予定しております(会場未定)。これにもふらってご参加ください。

連絡先

195-8550 東京都町田市広袴1-1-1

国士舘大学21世紀アジア学部

前川 和也

Tel. 042.736.1058 (研究室直通)

共同研究会：シリア・メソポタミア世界の文化接触

プログラム

1月26日(土)

- 1:00~1:40 名前から見るシュメール人とセム人：初期王朝期末ラガシュの場合
田中裕介（京都大学）
- 1:40~2:20 GISを用いた古代シリアの言語地理学
池田潤（筑波大学）
- 2:40~3:20 バビロニア人からみたシュメール語：最近のシュメール語研究によせて
森若葉（総合地球環境学研究所）
- 3:20~4:00 シヤマシュのナディートゥム制度成立の経済的背景：社会体制の変容を手がかりに
有賀望（筑波大学）
- 4:10~5:00 シリア共和国のキリスト教：シリア語とシリア語使用環境の調査
川本正知（奈良産業大学）

1月27日(日)

- 9:00~9:40 abzu にかんする考察：前3千年紀の史料を中心に
辻田明子（京都大学）
- 9:40~10:20 マリ文献にみえる「セム系部族社会」：戦争捕虜の取り扱いをめぐって
中田一郎（中央大学）
- 10:30~11:10 ポスト・ハンムラビ時代のユーフラテス中流とハブル流域における政治的・行政的・文化的様相
山田重朗（筑波大学）
- 11:10~11:50 前3千年紀シュメール語彙リストのアッカド語世界への普及
前川和也（国士舘大学）
- 1:30~2:10 Hana と Martu/Amurru
大西庸之（中央大学）
- 2:10~2:50 前2千年紀前半の「大王」号の成立とその特異な変遷
川崎康司（早稲田大学）
- 3:10~3:50 2語併用世界の文字トリック：エヌマ・エリシュの注釈書/マルドゥクの50の名前を例に
松島英子（法政大学）
- 3:50~4:30 Martu：部族制度の確立
前田徹（早稲田大学）